

2023年度後期 授業・教育方法の改善計画書			
質問	教員	学生	回答
1. シラバスと最初の講義等で、授業の目的や目標がどのような内容を十分に説明した。	4.67	4.33	講義初回にシラバスを印刷し、説明を行った。最初と最後には講義の目的と目標を説明していた。最後には目的と目標に到達できているカリフレクションの機会を設けた。最初の講義では説明しているが、時々確認が必要だと思った。初回欠席者への説明が課題。学科でも、受講を考えている授業の初回にはできるだけ授業のような声をかけをしたい。ただし、説明は1回目に限るので、2回目以降から来ている学生には伝わっていない可能性がある。時間があれば、随時補足をしていたが1回目に出席した学生にとっては同じことの繰り返しになってしまっているので、Google Classroomに配信しておくなど、今後の工夫が必要であると思われる。授業の第1回目の授業でシラバスを配布し内容を説明しているが、1回目の授業を欠席した学生には十分に伝わっていない可能性がある。
2. 学生の理解度を確認しながら、適切な早さで授業を進められた。	4.33	4.32	教科書に沿って、学生たちの反応を確認しながら授業を実施した。シラバスの内容に間に合わないので、何度も課題を通して理解度を探ったが、20%の学生はどうしても課題を出してくれないという難点もあった。人数が多く、また留学生の語学力の差も大きく、とても苦労しました。できる限り対応はしたつもりですが、足りなかった点も多々あると思います。来年度への大きな課題です。自作教材プリントを配付しているの、学生の書き込み具合をみて進行している。シラバスをベースとしながらも、学生の理解度に応じて演習の時間をめもにとった科目もある。前期の授業で、学生の理解度と進度にズレがあったと思ったので、後期は少しゆっくり進めようとした。ただ、そうなるシラバス記載とは異なる内容になってしまうのと、学生たちにとってはせっかくお金を払って購入したテキストを最後まで使えないことになってしまうので、来年度は工夫が必要である。人数が多いクラスでは、理解度の差があることもあり対応に苦労した。
3. 学生の理解を促すため、分かりやすい表現で、聞き取りやすくしっかりとした口調で話した。	4.42	4.39	よりはっきりと大きな声で話すように心がけた。常に気をつけている。留学生もいる科目もあったので、できるだけ平易な表現を使うように心がけた。必要に応じて英語を使用した。早口なので、なるべくゆっくり話すように心がけ、特に授業内の指示はきちんと伝わるように心がけた（つもりである）。
4. 黒板やホワイトボードの（オンラインの場合は画面に表示された）文字や資料、やパワーポイント等の内容は、学生が分かりやすい工夫をした。	4.42	4.28	毎授業、プリント及びパワーポイント資料をB4サイズで印刷して準備した今回は動画教材、インターネットの学術記事などを多く活用した。パワーポイントに合わせた自作教材プリントを配付しており、講義に合わせて重要語句を記入できるようにしている。文字サイズや色には配慮した。すべてのかんに読み仮名をふるとまではできなかった。取り残される学生がないように、なるべく大きな文字で分かりやすく説明した（つもりである）。できるだけ大きな字で板書したりなど気をつけていたが、今学期は、昨年度よりも履修者数が増え、特に大人数の授業科目では見にくかったとの意見があったので、今度はスライドを使用するなどの工夫をしたい。
5. 授業は予定時刻通りに始まり、予定時刻通りに終わらせた。十分な授業時間を確保できた。	4.38	4.44	パワーポイントの準備で時間開始時間がいくつもことがあった。ゼミや演習など自由度を持たせた。ただし、学習時間は確保できるように配慮した。パワーポイントや機器の設定に時間がかかることがあった。科目や各回の進捗によって、多少前後した。振り回りの時間を最後の10分確保できた。担当授業が連続していると準備が間に合わなかったり、機器のトラブルで、授業時間が遅れたりしたことがあったため、気をつけた。
6. 快適な授業を行うため、学生の遅刻や私語、その他不測の事態に対応し授業の適切な運営維持に努めた。	4.29	4.31	私語等について働きかけを行った。なるべく発表させたり、意見を求めたりしながら学生の講義への積極的な参加を促した。居眠りする学生、姿勢の良くない学生には声をかけた。なるべく対応したつもりではあるが、学生本人の修学意思を超えた指導は難しい。遅刻常習者に対して指導を行った。
7. 学生に対し分らないことを質問する機会（チャンス）を設け、適切に対応できた。	4.46	4.36	ほぼ毎授業でリアクションペーパーを実施した。レポートでの添削指導やグループワークでの質問への回答に努めた。特に授業後に質問に応じることが多かった。
8. 学生が授業の内容を自分で調べることができるよう、シラバスや授業内で十分に指導できた。	3.88	3.86	授業の最初と最後に教科書の予習と復習内容について指摘した。20%の学生にはまだ浸透していないが、しっかりと予習をした来学生も増えた。予習しない学生は、レポート等でわかるようになるまで丁寧に指導した。アクティブ・ラーニングをもっと取り入れたい。学生が主体的に授業内容を調べられる機会をもっと少し設けたい。授業以外の時間での学生の指導が不十分だった。
9. 必要に応じて授業外学習（予習復習・課題など）の必要性や内容について十分に説明した。	4.08	4.17	予習復習の指示は行ったが、その必要性についてはより補足説明が必要である。授業外学習の回答もかなり高くなってきたことから、まじめに取り組んでいると思われる。学生の負担が増えないように、授業の中で時々演習問題を行い自己評価をさせている。成績評価基準ともあわせて説明した。Glideアプリ授業の始めに前時の復習問題を解かせた。
10. シラバスや講義等で定めた到達目標を意識した授業運営ができた。	4.29	4.29	シラバスに記載している通りにはすまなかったや時間が足りなかった点もある。ほぼシラバス通りに授業を実施できた。最初と最後には講義の目的と目標を説明していた。最後には目的と目標に到達できているカリフレクションの機会を設けたことなど、毎回工夫した。こうすればよかった、という反省は常にある。受講者全員が到達したわけではないが、目標を意識しながらの授業は展開できたように思う。
11. 全体として、満足のいく充分な授業運営をすることができた。	4.00	4.36	アンケートから大幅に改善すべき点は見当たらなかった。20%の学生がどうしても、学びについてきてくれない。今後も、このような学生も参加できる方法を工夫していきたい。全体としてはそうだが、授業内容・方法については、来年度のためにアップデートをしなければならぬと思っている。もう少しアクティブな授業展開も心がけたい。
12. 対面授業における教室の広さや室温は、学生が学びやすいように配慮した。	4.33	4.50	広さが十分ではない授業もあった。毎授業ごとに室温等家訓しながら授業を行った。広さは問題なかった。カーテン、エアコン、照明など、毎回の授業で学生の様子をうかがいながら配慮できたと思う。
13. 遠隔授業における課題・資料等の配信や返答の受け取りは円滑に行うことができた。	4.35	4.42	グループワークで過不足なく行えた。問題ありません。In-person instruction is supplemented by online tasks. Although most students follow the in-person tasks well, I had students in the 異文化コミュニケーションスキル class as well as seminar classes blatantly ignore online tasks especially among the international students--lack of ICT skills could be part of the issue.遠隔授業は行っていない。初回の授業と一緒にClassroomの使い方を確認したことで、特に大きな問題は起きなかった。うまくいかない場合は個別に対応もした。
14. 学生からハラスメントがあった旨の回答があった場合、その受け取りや対応を記入してください。			日本語教授法について、ある学生から「教室にただで居るだけで苦痛だった」というコメントがあった。「生徒の回答や感想を笑うのはやめていただきたいと思った」と書かれていたが、学生からの発言に対して、嘲笑するようなことは一切行ったことがないため、大変驚いている。「自分の意見が笑われること」があったと書かれていたので、どこかの場面で期待していた教員の反応が得られず、自尊心が損なわれたことに反感を持っているのだろうと思われるが、今後のためにも、具体的にどのような場面について言われているのか知りたい。「学校に行くのを辛いと感じたのはこの授業だけである」とまで書かれたのは私も初めてであり、かなり強い口調での批判に違和感がある。この学生は、あらゆる項目で低評価をつけているが、他の受講生はおおむね授業を評価してくれているため、改善点はもちろんあるにしろ、授業自体に大きな問題はなかったと思うがどう対応すればいいのかわからない。日本語教師の国家資格化に合わせて内容を少し難しくした一方で、グループワーク等も積極的に取り入れているため、それらが苦手だと思う学生には苦痛だったかもしれないが、もしそうだとすれば、どのように対処するのが正解だったのか、今後のためにご教示いただきたい。特にありませんが、一言一言学生への配慮をしながら話しています。学生の話を親身に聞くことしか、ハラスメントは回避できないので、学生からの苦言がある場合、ハラスメントに発展しないか常に意識して向き合っています。I don't feel that harassments is an issue in the classroom, but I have had a student complain that another student using a tablet computer was not focusing on the lesson not realizing (nor later admitting) that the student being accused was reading an e-text on the tablet computer.
15. 進学や就職、学生の人生設計・キャリアプランニング等、将来に役立つ内容について授業で意識したことがあれば記入してください。			このスキルは仕事で役立つといったことはいくらなんでも過言ではない。マネジャーになってどのような役割を果たすべきであることを事例を挙げて説明した。はやめの準備を心掛けることを念を押した基礎演習1（学科全体）で中小企業家同友会の会員としての学生の懇話会は、学生の動機づけになったことが振り返りからわかった。身近な出来事を意識的に取り入れた国家試験の準備や資格取得の説明を通じて説明した。学生の科目別の分析思考が改善できていないので、キャリアプランニングに関して関係性が作れないのでしよう。基礎教育や基礎演習で取り組んでいるのですが、一人でやっても効果はないでしょう。SDなら基礎教育委員会を再生するなり、先生方の協力を切に祈っています。It would be best to continue to focus on fostering the students' ICT skills as these skills will continue to be relevant for the students to compete in the future job market. 常に教員採用試験を意識させ、重要なポイントには説明を加えた。・キャリア教育におけるバックキャスト思考を用いて自分や自分をイメージする必要があるように、学生はICTの理論やT作りに関する機軸に厚みを持たせることの大切などを折に触れて話をした。授業は就活を意識したものになっている。就職科目では、教育実習を意識した内容を盛り込んだ。その他の科目でも、資格試験の受験を呼びかけたり、個別に試験対策をすることもあった。授業終了後に、専攻分野の魅力を振り返るプログラムを今年の3月に企画し実施予定である。学生が就職活動や将来の仕事イメージしやすいように実際の事例を基に説明した授業をおこなった。教師の速い手配についてたびたび話をした。ゼミや教育実習の事前・事後指導では、コミュニケーション能力や質問力、プレゼンテーション能力の向上をねらいとして、グループワークや発表を多く取り入れるとともに、講義科目でもグループワークを取り入れた。また、卒業後の進路や人生について考えてもらうきっかけとして、卒業生などに話をしてもらった機会もあった。
16. 大学の施設設備や授業で使用する機器について気が付いたことがあれば記入してください。			A404の大きなモニターにPCをつなげた際、画面がぐちゃぐちゃなのですが自力では調整できませんでした。マニュアルを教室においてほしいです。西山ホール、鯉島ホールのマイクを確認する必要がある延長コードが必要な場面でもコードがなかったり、ホワイトボードのペンが書けなかったりということがあった。鯉島のマイクの中に壊れかけているものがある。据え置き型のプロジェクター教室をより拡大してほしい。授業準備の時間短縮になります。簡単なPCの統計ソフトがいつまでにも入らない。I use media in most of my lessons. Increasing the number of digital monitors and ceiling-mounted projectors is very much appreciated. Within the university's budget, I would like to see the trend continue.鯉島記念ホールで、かなり文字は大きくし、見えにくい人は前に来るように促し、そのための座席も設けるようにしましたが限界があります。できれば教室の中央だけでなく天井からつるようなモニターを設置してもらえればと思います。プロジェクター等の機器の導入はありがたい。・中規模講義室例えばA301程度の部屋で移動式の机を入れ、ワークシートの講義ができるようにして欲しい。・鯉島ホールのプロジェクターにmacやipadを接続すると不安定になるので改善してほしい。A301とA401のプロジェクターが新しくなり良くなった。プロジェクターが常設になってとても使いやすくなりました。全教室に設置されるようになればありがたいです。今後、プロジェクター（持ち運びや鍵の貸し借りが不要）のある教室が増えることはとてもうれしい。持ち運びのプロジェクターは、一番前の席（スクリーンが最もよく見える）に学生が座れないので、今の改善方向は素晴らしいと思う。ITを活用した講義室確保のための計画策定が必要とされるこの301401教室のプロジェクター設置と片付け時間を要していたが、改善され喜んでいる。鯉島ホールのマイクが壊れているので、後期の途中からA301・401に固定型のプロジェクターが設置され、授業準備の負担が減り、助かった。ホワイトボードマーカーが薄汚れたり、書けなかったりすることが多いので、教卓の下に予備を置いてもらえるとありがたいです（授業中に教務課に取りに行くのは授業が中断するので、できるだけ避けたい）。
17. その他、授業改善について気が付いたことがあれば記入してください。			学生のスマホ使用率になっている最後の授業でclassroomの質問機能で、「アンケートに答えた」、と問うたところ回収率が上がった。授業評価は今後の授業に役立てていきたい基礎教育委員会を再生するなり、学生の科目別分析思考や受動的学習からの転換など、しっかりとやらなく、個別の授業でも無駄にない、学生からの厳しい評価になるのではないかと。As previously mentioned in response to question #13, in-person instruction is supplemented by online tasks. Although most students follow the in-person tasks well, I had students in the 異文化コミュニケーションスキル class as well as seminar classes blatantly ignore online tasks especially among the international students--lack of ICT skills could be part of the issue. Increasing student competency to respond to tasks (not only focusing on the task itself) remains as a goal for my classroom instruction. 学生の授業評価アンケートは、今後の授業を改善するための参考になる。受講者も多く、学力に差が大きいと授業レベルの設定が難しくなる。新カリキュラムにて、専攻分野への関心は2年次終了時には、ある程度定まってしまうため、関心をもってもらうためには、1年終了時もしくは2年前期の期間中に、関連プログラムを企画、実行することが効果的ではないかと考えている。例年に比べて授業評価アンケートに回答している学生が少ないうちに、授業改善の参考にしたい。すこしシラバスと内容がずれていた授業があったので改善していきたい。やはり履修者人数が多い授業が評価が低い傾向にあるため、次年度に向けて改善したい。特に授業時間やホワイトボードの文字、自学・能動的学習についての点数が低かったため、改善していきたい。SDなどで、授業の工夫や改善方法について取り上げたい。
18. 遠隔授業をどのように行ったか、また改善すべきことがあれば記入してください。			オンデマンド形式で行った。雪や台風などにもなる、全ての授業が、即日、遠隔授業に切り替えられるようにしている。遠隔授業は行わなかった動画の活用、学術記事などの活用で、授業外学習を推進した。Google Classroom is heavily used in my instruction. PowerPoint presentations and other media were used as part of learning tasks. Google Classroom served to facilitate instruction as well as confirm in-person lesson content. Again, I need to focus on increasing student competency to respond to tasks.補講は行ったが、遠隔授業は行っていない。今学期は遠隔授業を行いませんでした。でも対面と遠隔をうまく使い分けて、学生が主体的・自主的にリソースするよう企画を設けた方がいいかと思いましたが。授業内で十分説明・周知し、配布資料を基にした課題を期限までに提出することとした。事前に、遠隔を想定した予行体験ができるようしてみたり、日頃ITを活用した授業運営を心がけている。スライド、音声録画し、ビデオオンデマンド方式で複数回、自由な時間にダウンロードできる遠隔授業をおこなしました。スライド映像を配信し、Googleフォームでのレポート提出google classroom 使用し、課題の配布をおこなった。